

2025カトリック聖年とイタリア巡礼ツアーバー(B)に参加して

マリアテレサ西澤暁子

2000年10月15日、25歳の時に洗礼を受け、それから25年の記念に何としても聖なる扉をくぐりに行きたいと考えていた。11月9日～15日までのこの巡礼ツアーバーにかなり早い段階から参加したい旨を伝え、ついに行けることになった！…が、しかし、この巡礼には怒涛の展開が待ち受けていた！

11月9日は友部教会の御ミサに与り、その後すぐに茨城空港に車で移動し、茨城空港から神戸空港に行き、ベイシャトルの船で関西空港にたどり着いた。23:10にエミレーツ航空でドバイに5:25頃着いて、乗り継いで11月10日の12:40頃ローマに到着。無事にサンパオロ・フォーリ・レムーラ大聖堂の聖なる扉をくぐり、神聖な気持ちになった。その後サンロレンツォ・フォーリ・レムーラ大聖堂にてAグループ（日程がBグループよりも長い）と合同ミサに与った。その後、ホテルに行き、夕飯の時に自己紹介などして夕食を楽しんだ。広島教区の山口神父様と同行スタッフの速水さん、そして私達参加者で総勢18名の巡礼Bグループは関西空港からなので、私は東日本から唯一の参加者で他は西日本の方々だった。

2日目の朝、サンピエトロ大聖堂の地下聖堂にてAB合同ミサがあった。その後、近くの商店に行って会計をしようとしたら、なんと、財布がないことに気付いた。どこにもない！ただ、御ミサに与った時に献金で財布からお金を出したのは覚えているけど、その後財布をどうしたのか？肝心な記憶がそこだけどうしても思い出せない。すぐに山口神父様とスタッフの速水さんに相談すると、私達のイタリア人のガイドさんがもう一度地下聖堂に財布を探しに行ってくれることになった。もう、顔面蒼白、財布にはカード2枚も入っているし両替してお金も結構入ってる…気が動転して、ただ神様にどうか財布が見つかるように祈るしかなかった。もう、財布が見つかったら私の全てを捧げます！なんて祈ったりして…最後はもう神様にお任せするしかないと開き直った。山口神父様があんまり楽観的なことは言えないけど大丈夫だと励ましてくれた。他の皆さんも財布なくした私の心配とお祈りをして下さった。そういううちに、イタリア人ガイドさんから無事に財布が見つかったと連絡があった！他の皆さんも無事に財布が見つかり一緒に喜んでくれた。そうして、サンピエトロ広場から少し離れた場所からA Bの合同巡礼団で大きな十字架を掲げてロザリオの祈りを口ずさみながらサンピエトロ大聖堂の聖なる扉をくぐることが出来た。そして、自由行動の時、ガイドさんと一緒にサンピエトロ大聖堂の前の警察官に事情を説明し、パスポートを見せ、本人確認をして財布を返してもらい、中を確認したらそのまま残っていた！ガイドさんや山口神父様も、こんなところで財布なくしたら99%は戻ってこないものだけど、それが中身がそのまで見つかるなんて奇跡的なことだと言っていた。本当に神に感謝、それしかなかった。その後はレストランにて昼食をとり、サンタ・マリア・マッジョーレ大聖堂の聖なる扉をくぐり、教皇フランシスコのお墓参りをした。とても簡素なお墓だった。次にサン・ジョバンニ・イン・ラテラノ大聖堂の聖なる扉をくぐり、無事に4つの聖なる扉をくぐることが出来て感慨深いものが込み上げてきた。時間があるからとトレビの泉でコインを投げ、それからジェラートを食べる事が出来た！その夜、なくした財布がそのまま見つかるなんて奇跡的なことがあり、神様に心から感謝した。

3日目は早朝ホテルを出て教皇謁見の為、サンピエトロ広場に向かう予定。スタッフの速水さんが出発前にパスポートあるか確認して下さいとのことで定位位置のバックの中を見たら、なんと、今度は、パスポートが、ない！リュックにもない。スーツケースにもない。部屋にもう一度行ってくまなく探したけどない。ただ、財布を戻してもらう時にパスポートを見せた時の記憶はあるけど、その後いつどこでなくしたのか、全く見当もつかない。すぐに速水さんに相談した。とりあえず、まずはサンピエトロ広場まで行くとのこと。早めに行って良い席を取れただけ、結局私だけパスポート紛失の為、日本人のアシスタントの方といろいろ手続きを取りに行くことになった。謁見は泣く泣く諦めた。そして、午後にBグループはアッシジに移動だったけど、私はローマのホテルにもう一泊することになってしまった。今日中に仮申請出来たら、翌朝Aグループの方々とアッシジに行くかもしれないとのこと。日本人のアシスタントの方は栃谷さんという年配の方でパスポート紛失した人のサポートをよくやっているそうで、警察署でパスポート紛失の被害届を提出し、フォトスタジオでパスポート仮申請の写真を撮り、大使館に連れていってくれた。大使館にて必要書類に記入し、写真も提出したけど、どうやら戸籍謄本または抄本が必要とのこと。夜7時頃の日本の両親に電話して、マイナンバーカードを使ってコンビニでもらえるか試してもらつたが、両親だけのはとれるけど、子供も一緒となると市役所に行くしかないという。それで、日本時間の朝イチに市役所に行って戸籍謄本をもらい大使館にFAXで送るか、私のスマホに写メを送るようにしてもらつた。海外旅行に行った娘から突然パスポート紛失したなんて連絡あり、きっとものすごく心配させてしまい、本当にもって申し訳ない気持ちでいっぱいになった。ということで、今日中に申請は通らないことになってしまい、翌朝アッシジに行くことはできなくなつた。その為、大使館の後で一緒にテルミニ駅に行ってアッシジ行きの電車の時間を調べることにした。乗り継ぎは不安だから直行する電車の時間を聞いてもらつたら、テルミニ駅14:20発でアッシジ駅に16:30頃に到着、又は18:00発で20:20頃に到着の電車があるとのこと。その後どうしようかとなり、結局14:30頃からAグループのローマ観光にまぜてもらうことにしてサン・セバスティアンのカタコンベ（地下墓地）で待ち合わせとのことで栃谷さんに手伝つてもらってタクシーで向かった。道すがら栃谷さんから遺跡とかいろいろ観光のミニ知識を教えて頂いて、ちょっと得した気分にもなれた。そして、Aグループと合流してカタコンベを見学。言葉で言い表すのが難しいけど、不思議な空間だった。そこで、栃谷さんと明日の朝ホテルで待ち合わせする約束をして別れた。その後、アッシジの聖フランシスコの聖痕の記念の教会で御ミサに与り、自由行動の時、Aグループのガイドさんから、前日私が乗つていた移動車の中から私のパスポートが見つかったとパスポートを返してもらつた！なんとも複雑な気持ちだったのは、栃谷さんからもしパスポートが見つかったとしても、新しい旅券番号に切り替わついたらそれは使えないかも知れないと言われていたから…時すでに遅しと思つてしまつた。その後、聖フランシスコ・ザビエルの右手が祭られているジェズー教会にも行けた。本当は歩き疲れたから早く

ホテルに戻りたかったけど、1人ではホテルに戻れないとのことで、Aグループの方々とレストランで夕食をとった。皆さんが私のことをいろいろと気遣って話しかけて下さるのはありがたいけれど…なんだろう…Bグループの皆さんのが恋しくなってしまった。きっと今頃アッシジにいるんだろうな…と。その後、とりあえず、明日の朝、私のスーツケースはAグループの方々の移動車にのせてもらえることになり、やっとホテルで休めるようになった。パスポートなくして茫然自失、ほうぼう歩き疲れて、パスポート見つかったけど素直に喜べず…なんでこんなことになったのかさっぱりわからない…かなり複雑な気持ちで眠りについた。深夜、父から電話がありFAXが大使館に送れなかったからと私のメールに戸籍謄本の写メが送られてきた。すぐに大使館に写メを転送し、ダメもとでパスポートが見つかったので、申請取り消しは可能か?と問い合わせメールも送ってみた。

4日目、朝のお祈りの時、ボロボロ涙があふれて大号泣した。「神様、もう充分です。もう、これ以上私に試練を与えないで下さい。少しでも早くBグループの皆さんに会いたい。アッシジに行きたい。助けて下さい。なんで私だけこんな目に合わなければならぬのですか?どうか助けて下さい!」初めは辛くてどうしようもなかったけれど、最後の方は涙もひいて、「今日一日、私の全てをお任せします。私の全てを御手に委ねます。」という祈りになって落ち着きを取り戻せた。それから慌ただしく朝食をとり、そしてスーツケースの荷造りをしてAグループの方にスーツケースを預け、8時に栃谷さんとホテルで待ち合わせをしてバスを乗り継いで大使館に開始時間と同時に到着。大使館に行ったら、問い合わせのメールを見てくれたそうで、パスポートが見つかったということでの申請は取り下げることになりますとのこと。その代わり、警察署に行ってパスポートが見つかったので被害届取り下げの手続きをとるように言われすぐに昨日の警察署に行って手続きをした。これで晴れてこのパスポートが使える!とのことで、すぐに地下鉄でテルミニ駅に行ってアッシジ行きの電車の切符を買うこととした。アッシジ行きの電車の時間をきいたら、やはり直行便は14:20発しかないけど、乗り継ぎで良ければ11:45テルミニ駅発、乗り継いで14:43にアッシジ駅到着があるとのこと。乗り継ぎなら、15:00のアッシジのサンタマリアマジョーレ教会の合同ミサに間に合うかもしれない!かなり心配だけれども、思い切って乗り継ぎの電車の切符を買った。その後、電車内で食べるサンドイッチを買い、ホームに向かうが、栃谷さんがもう一度確認したらなんと逆方向を歩いていて25番線から2番線まで二人で走って向かい、栃谷さんとは慌ただしくお別れ。改札入って全力で走り2番線奥の電車にギリギリ間に合ったのに、7分遅れで電車が出発…乗り継ぎ時間が約10分だから大丈夫かとヒヤヒヤしたけれど、定刻に終点まで着いた。終点で降りての乗り継ぎだったから助かった。何とかアッシジ行きに乗り、定刻通りにアッシジの駅に着いた!そして、アッシジ駅からサンタマリアマジョーレ教会までタクシーで行く道すがら、タクシーの運転手さんが指さしている教会を教えてくれた。そして、教会に着いたものの、まだ皆さんがいなくて、本当にここでいいのかなど不安に思っていたら、見知った人達が見えて、やっとBグループの皆さんに会えた!とホッとしたら泣けてきた。Bグループの皆さんも山口神父様が西澤さんの為に祈りましょうってお祈りをしてくれたみたい。こうして、Bグループの皆さんと一緒に御ミサに与り、その後サンダミアーノ教会に行き、またサンタマリアマジョーレ教会に戻り、今年聖人となった聖カルロ・アクティス様のご遺体を見て祈ることが出来て本当に良かった。パスポート紛失していろいろあったけれども最終的にはパスポートが見つかり、大使館で申請取り下げてもらい、警察署で被害届取り下げをして、乗り継ぎの電車では神様と2人旅をし、アッシジの教会の御ミサに間に合いBグループの皆さんと再会して、イタリア最後の晚餐をBグループの皆さんと出来たこと、本当に神様に心から感謝した。夕飯後にBグループの藤井さんから教会のバザーで残った物と一緒に聖句の小さな紙が入っているのをあげるから後で見てみてねと言われて見てみたら、なんとそこには「主を信頼しなさい。そうすれば必ず助けて下さる。あなたの歩む道を一筋にして主に望みを置きなさい。シラ書2章6節」と書いてあった。まさに財布といいパスポートといい、私がこの巡礼で体験したことはこれではないか!特にパスポートの事は到底私だけの祈りでは叶わなかったに違いない。Bグループの皆さんのが私の為に祈ってくれた、きっと皆さんの祈りがパスポートの奇跡にしてくれたのだと信じる。

5日目、朝、Bグループだけで御ミサがあり、第一朗読を担当させて頂いた。心を込めて読ませてもらった。山口神父様の説教も心に染みた。改めて、Bグループの皆さんにお礼を言えた。そして、全員に巡礼証明書の授与があり、嬉しかった。アッシジからローマの空港に無事到着。スーツケース預けて、手荷物検査の時、私の荷物がはじかれてしまい、担当者が確認するも該当するものが無いらしくもう一度初めから通すことになり、今度はなぜかはじかれずに通過した。山口神父様はどうやらもうそくでひっかかったらしい。私が不安そうにしていると大丈夫、大丈夫と声かけてくれた。そして、出国手続きで私にトラブル発生する。パスポートかざしても通らず、担当者いる方で出国手続きするように促された。そこにいってパスポートを渡したら、担当者の方が少し険しい顔になり、いろいろ調べてみるとどうだったけど、結局、事務所に一緒に行くように言われてついで座って待つように言われたけど、昨日警察署に行って被害届取り消しの書類はもう使わないだろうと思いつつスーツケースに入れてしまったことを強く後悔した…事務所で職員さん達が話し合っているようだけど、ある職員さんが首を横に振っているのを見て、もうダメかもしないと思った。とにかく必死で神様に「どうかお願ひです。Bグループの皆さんと一緒に帰らせて下さい!」と祈るしかなかった。私を連れてきてくれた職員さんが、同僚から後で話しがあるから待ってと言われ、ただひたすら神様に祈っていたけど、もう今度こそダメだ…出国できず、空港においていかれるのかな、そしたらスーツケースどうなっちゃうのかな…でも、やっぱり皆さんと一緒に帰りたい!と祈っていた。スタッフの速水さんが私が事務所に連れていかれるのを見つけてくれて声をかけてくれていた。長い間待ったような気がするけど、最終的にこのパスポート使えるようになつたよって渡してもらい晴れて出国できるようになった!きっと時間がかかったのは大使館とかいろいろなどころに確認していたからかもしれないけど、待っている間、すっごく怖かった!このことは速水さんと山口神父様のみ知っていて、皆さんには神父様にいろいろあって遅れたことにした。そう、でも、これをもって本当

にパスポートの奇跡となった！そして、Bグループの皆さんと一緒に無事に11月15日の夕方に日本に帰ることが出来た。そして関西空港でお別れしたけど、今は巡礼グループLINEでつながっているのがありがたい。ちなみに、私が泣く泣く諦めたレオ14世教皇の謁見は皆さんの写真や動画を通して見ることが出来て良かった。

私は15日に神戸で一泊して、六甲教会の早朝ミサに与り、16日に飛行機で茨城に戻った時、両親の家に寄つて帰った。パスポートの件では心配と余計な取り越し苦労をさせて申し訳ありませんでしたと謝ったら、アッソジにも行けて無事に帰ってきて良かったと言ってもらえた。写メの送り方がわからなかったけど、いつもはいないお隣の奥さんがいて助けてもらったと…日本でも神様が粋な計らいをしてくれていたようだ。

今の私には、なくした財布がそのまま戻ってきた、なくしたパスポートが見つかりいろいろあったけど使えるようになり、2回も奇跡的なことが起きたとしか言いようがない。確かに、パスポートの件ではかなり痛い出費があったけれども、この短期間の巡礼でまるでジェットコースターに乗っているかのような体験をした人は稀に違いない。この体験に何かしら神様の意図があるとしたら、後々振り返った時に気付く時がくるのかもしれない。

本当に沢山の方々の祈り、尽力のおかげで奇跡にしてもらえたと思うので、今回の巡礼では散々な目にあつたとは全く思わない。ただただ神様に感謝。そして、皆さんと心合わせて祈ることによって神様が聞き入れて下さり、祈りのすごさも感じられた。

茨城に戻ったら、あれだけ回心しようと思ったのに、以前と変わらない生活…そんなにガラッと変わるなんてできないにしても、日々、できるだけ神様に心を向けようと思う。そして、巡礼の時から毎朝の祈りに「今日一日を神様にゆだねます。御心のままにお導き下さい。」と祈るようになった。神様の御手にこの身をゆだねて生きていこうと思う。



サンピエトロ大聖堂の
聖なる扉



サン・ジョバンニ・イン・
ラテラノ大聖堂の聖なる扉



サンタ・マリア・マッジョーレ
大聖堂 教皇フランシスコの墓



聖フランシスコ・ザビエルの右手
ジェズー教会



サンタ・マリア・マッジョーレ教会 アッシジ
聖カルロ・アクティス様のご遺体が安置されています。



最終日、アッシジの宿泊先の修道院の聖堂にて御ミサの後、巡礼証明書をもらいました！